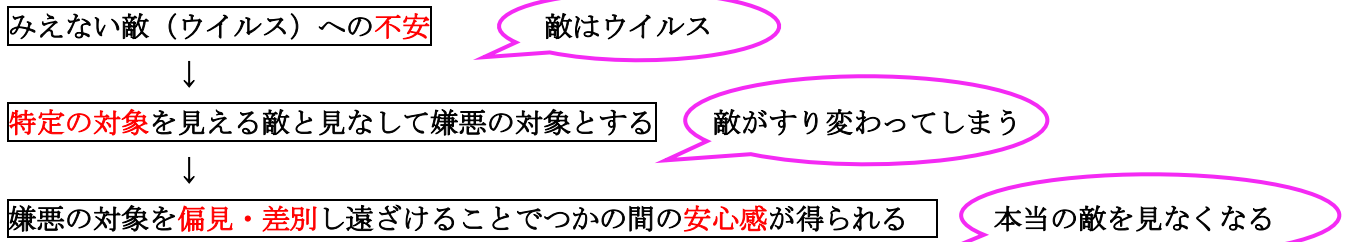


新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう：（5月号では2つ目までをご紹介しました。）

第3の“感染症”：社会的感染症＜陰悪・偏見・差別＞

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染に関わる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのでしょうか？



負のスパイラルで感染症が広がる

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

第1の感染症
「病気」

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

第3の感染症
「差別」

第2の感染症
「不安」

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散に繋がることです。

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

*「確かな情報」を拡めましょう。

*差別的な言動に同調しないようにしましょう。

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

小さな子どものいる家庭、高齢者、治療を受けている人とその家族、自宅待機している人、医療従事者、日常生活を送って社会を支えている人、この事態に対応しているすべての方々にねぎらい、敬意を払いましょう。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルをたちきりましょう。

参考文献：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」

日本赤十字社「新型コロナウイルスが引き起こす3つの感染症」